

令和7年度 第4回 浜松市立亀玉中学校運営協議会 議事録

- 1 開催日時 令和8年2月10日（火） 13時30分から15時30分
- 2 開催場所 浜松市立亀玉中学校 会議室
- 3 出席委員 澤木達治、渡邊剛一、鈴木斉、仲山旬子、阿部永、西尾孝治
守田亜紀、
- 4 欠席委員 黒飛三千子、入戸野元張（学校支援コーディネーター）
- 5 オブザーバー 鵜飼孝
- 6 学校 杉浦有美子（校長）、鈴木亮（教頭）、新川優子（CS ディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 新川優子（CS ディレクター）
- 9 議長の選出 司会から、議長の選出について、澤木会長が受ける旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校運営協議会自己評価について
- （2）来年度の経営方針について（杉浦校長）
- （3）その他

11 会議の記録

授業参観をした後、会議を開始した。

鈴木教頭から、委員総数9人のうち、7人の出席があるため、浜松市学校運営協議会規則（以下「規則」という。）により、会議が成立し、会議を開始する旨の報告があった。

澤木会長から風邪の流行状況や今後の部活動の地域展開の話題と今年度で会長引退の報告を含めた挨拶があった。

続いて、杉浦校長からインフルエンザ流行状況や来年度のクラス編成や部活動の地域展開に触れての挨拶があった。

第3回学校運営協議会の議事内容については、全員異議なくこれを承認した。

（1）学校運営協議会自己評価について（鈴木教頭）

鈴木教頭より、事前に委員からいただいた協議会の自己評価の報告があった。今年度の目標3項目のうち2項目は高評価であったが、残り1項目で、協議会での協議結果についての情報発信が不十分との意見があり、来年度の目標に情報発信の項目を取り入れた。特に地域への発信を検討していく。その他に新たに2項目を加え、令和8年度の学校運営協議会の目標が承認された。

（2）来年度の経営方針について（杉浦校長）

来年度の経営方針について校長より説明があった。

令和8年度学校経営構想・・校訓は「亀玉を磨く」。今年度の課題から、主体性・能動性・創造性を身に付け、自分の人生を自分で舵取りできる力を育むことを目指す。

メインテーマ「君たちはどう生きるか」。自分と未来を創るため、自分の足で踏みだせるようにしてほしい。

「マイテーマ学習」でキャリア教育を推進し、「亀中ウエルビーイングアクション」でよりよく生きるための心身の健康づくりを、教職員研修で授業資質の向上させること、地域へ情報発信し、地域との連携で子供たちに外部との関わりを持たせることを推進する。

○自分で考え、まとめ、発表することは社会に出て重要になる。マイテーマ学習発表時に声の小さな生徒がいたので、まずは発表時の声の大きさを指導してほしい。（渡邊副会長）

○発表の仕方が様々で工夫が見られる者もいた。（澤木会長）

(3) その他

・部活動の地域移行（杉浦校長）

令和8年度9月以降の部活動の地域展開については、予想される活動方法が幾つかある。地域展開によって他地域との交流ができる一方で、亀玉地区との関係が薄れる懸念がある。「はまクル認定クラブ」は優先的に学校施設を利用できるが、活動を楽しむことが目的で勝利を目的としない活動を目指している。

また、来年度からは、人数不足のために部活動が他と合同になることも考えられる。

○活動が自分の学校以外で行われるために移動手段がなく参加できない生徒が出てくるのではないか。（仲山委員）

○これまでは入りたい部活のために学区外へ進学する生徒がいたが、そういった問題はなくなるのではないか。（渡邊副会長）

・学校と教師の業務の3分類（杉浦校長）

資料を基に、学校以外が担うべき業務、教師以外が積極的に参画すべき業務、教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務の分類への取り組みを、今後も進めていくと説明があった。

○コミュニティスクールを開始して7年経過するが、教師の業務量の変化は見られるか。（渡邊副会長）

●特に、職場体験や防災オリンピックの業務ではかなり軽減されたと実感できている。（杉浦校長）

12 今後の予定と連絡

・夢やまいかC S加算分の報告

合唱コンクールでは講師を招き合唱練習の指導及び審査員を、2年生では講師によるマナー講座を、1年では講師による職業講話を、それぞれに予定通り実施した旨の報告があった。

・卒業式、入学式について

令和7年度卒業式及び令和8年度入学式の案内通知を関係者に後日送付する旨を連絡した。

・令和8年度学校運営協議会

来年度の協議会年4回の開催日程が示された。

委員は原則3年任期のため来年度から多くの委員が入れ替わる。

・亀玉協働センター（鵜飼オブザーバー）

鵜飼オブザーバーよりコメントをいただいた。

委員の方々が垣根を超え、知恵を出し合って話し合いをしていると感じた。協働センターとして、地域住民の活動支援に取り組んでいく。

次回会議は、4/14（火）13時30分から開催する旨の報告があった。